

2005年9月1日

大型液晶テレビ用偏光フィルム設備増設

住友化学はこのほど、急増する大型液晶テレビ用偏光フィルムの需要に対応するため、日本と韓国においてそれぞれ1系列600万㎡/年と2系列1,200万㎡/年の合計1,800万㎡/年の大幅な設備増設を実施することを決定いたしました。

大型液晶テレビの販売は、その性能の向上と価格低下に伴い大きく伸長し、市場が本格的に立ち上がってまいりました。当社は、予てから大型液晶用偏光フィルムの品質向上に向けた研究開発を続けてまいりましたが、この度、大型液晶テレビ向けに開発されたポリシクロオレフィン系位相差フィルムに独自の技術改良を加えることにより、格段の性能向上と価格競争力強化を実現する目処を得ました。今後はこのフィルムが、大型液晶テレビ用途の主流となるものと期待しています。

今回の設備増設は、最新鋭の設備と革新的な技術を投入し、延伸・塗工から製品化までの一貫設備として生産性を大幅に向上させると共に、品質維持に重点を置いた品質保証体制にも種々の最先端技術を導入したいわゆる理想型の工場を建設するものであります。今後の一層、厳しくなると予想される品質競争に積極的に対応してまいります。

本設備完成後は、当社の偏光フィルムの生産能力は現有の日本(800万㎡/年)、韓国(800万㎡/年)、台湾(800万㎡/年)の能力と合わせて合計4,200万㎡/年となり、急増するフィルムの需要に対応し、需要家の安定供給に対する要望に応える生産体制を整えてまいります。

また、韓国での増設のうち1系列は、今後急増すると予測される中国市場での需要に対応する計画です。需要動向を見ながら愛媛工場にてさらに1系列増設、台湾または中国(無錫)での増設についてもいつでも着手できるように計画を詰めているところであります。

当社は、今後とも需要家のニーズに応じて機敏に供給体制の整備に努め、液晶表示材料関連ビジネスの拡大を図ってまいります。

《設備増強の概要》

1. 設備能力

愛媛工場	1系列	600万㎡/年	
韓国(東友ファインケム)	2系列	600万㎡/年	計1,200万㎡/年

2. 完成時期

愛媛工場	06年	8月
韓国(東友ファインケム)	06年	5月(1系列目)
	06年	10月(2系列目)

以上